

あなたとつなぐ

甲^{こうか}賀

市議会だより



vol. **51**
2017/8/1

Contents

- 02 議案審議
- 06 常任委員会報告
- 08 特集①/第6回議会報告会レポート
- 09 特集②/政務活動費
- 10 一般質問/市の考えを問う
- 22 特別委員会・組合議会の動きなど
- 24 こうか再発見Vol.23



みんなで植えた「牛飼たんぼアート」

議案審議・6月定例会

補正予算めぐりに議論 可決

平成29年6月議会は、6月5日の議案上程、提案説明を受け30日まで開催され、執行部からの提出案件37件と、議会提出案件2件、意見書案7件、計42件を慎重審議しました。

人事

◆人権擁護委員

伴 由起子氏（甲賀町）

◆農業委員

左表のとおり

（人事案件全員賛成）

予算

◆平成29年度一般会計補正予算

議論が集中したのは、西部学校給食センターの設置予定地を水口

反対討論

●市民活動センター整備は是非を判断する材料を欠いた議案で、多額の支出が見込まれ、補正予

賛成討論

算編成の諸原則に反する恐れがある。
●なぜ今、当初予定地に、コア・ステーションを設立か、プロセスが不透明。市民や議会の意見を聞かずして時間がないからと市の主導は問題だ。

条例の一部改正

◆あい甲賀ふるさと応援基金条例

市を応援しようとする個人または団体等からの寄附金を財源として行う事業の規定の改正。

◆市道に設ける道路標識の寸法を定める条例

国の法律等の改正に伴い市道の道路案内標識の識別番号を変更する。

◆消防団員等公務災害補償条例

国の法律等の改正に伴い改正する。（3件、全員賛成）

◆地域総合センター条例

地域の要望により梅田会館を廃止。（賛成多数）

議員提出の条例等の一部改正

◆議会委員会条例

定数削減により、常任委員会を現行の4委員会から議員改選後は3委員会とする。

◆議会会議規則

定数削減により、議案の提出や動議等の要件を改正する。（全員賛成）

（賛成多数）

氏名	町名	性別	年齢	職業
小倉 剛	土山	男	57	自営業・農業
川村 克己	甲賀	男	63	農業
北田 耕平	信楽	男	73	農業
葛原 準子	信楽	女	61	陶器製造業
倉田 一良	水口	男	69	団体職員・農業
高井 啓	信楽	男	68	農業
瀧井 和雄	水口	男	66	農業
田畑啓之助	土山	男	76	農業
寺田 勝典	信楽	男	50	自営業
中川 講一	甲南	男	65	農業
西田くみ子	甲賀	女	67	農業
服部 嘉子	甲南	女	64	農業
林 廣美	土山	男	69	農業
林田 清光	水口	男	65	農業
伴 慎也	水口	男	61	農業
福永 甚蔵	甲南	男	65	農業
森地 隆照	水口	男	70	農業
山下 年数	甲賀	男	68	農業
吉田新太郎	土山	男	72	農業

（敬称略・年齢は6月5日時点）

◆第二次甲賀市総合計画基本構想

○まちづくりコア・ステーションにつき、一般市民の方も自由に利用できる機能を持ったものにとの提案に市長も理解をして頂いた。（賛成多数）
○国の補助採択、寄附金、財調基金、特例債を有効活用し、施設整備を進めるなど地域の活性化や子育て教育の向上等に必要とする。
○東海道にぎわいづくり、日本遺産認定も対応。コア・ステーション事業は、統一した提案がないのであれば、市長の夢にかけろべき。
○国の補助採択、寄附金、財調基金、特例債を有効活用し、施設整備を進めるなど地域の活性化や子育て教育の向上等に必要とする。

及び基本計画を定めること
このことにつき、市議会基本条例により、議決を求める。
（全員賛成）

条例の廃止

◆防災行政無線条例

平成24年度からの地域情報化基盤整備事業が進み、平成28年度には甲南での整備完了に伴い平成29年9月30日で防災行政無線を停波・閉局するため廃止する。

(全員賛成)

契約

◆甲南第一小学校大規模改造工事

請負業者 大宝柵木株式会社
請負契約額

3億3473万5200円
(全員賛成)

変更契約

◆信楽体育館耐震補強・大規模改造工事において、アスベスト除去のため増額変更

増額額 1627万1280円
増額後の額

2億9674万7280円
(全員賛成)

◆甲賀市新庁舎建設工事において、防水工事のため増額変更

増額額 799万7400円
増額後の額

42億1988万9400円
(全員賛成)

ご存知ですか？

用語解説

【合併特例事業債とは】

合併した市町村に限って認められる地方債(借金)で、合併後の市町の一体的な発展や旧市町村間の格差をなくすための事業に活用できます。

実施する事業費の95%を借り入れることができ、借入金を毎年度分割して返済する際、利息を含めた返済金の7割が国からの地方交付税で賄われるという制度です。

甲賀市の場合、この地方債を平成31年度まで活用することができます。

【基金とは】

市の預貯金のことです。基金には、年度間の財源を調整するための財政調整基金や地方債(借金)の計画的な返済に充てるための減債基金、特定の目的に応じて使うための特定目的基金の3種類があります。

特定目的基金には、教育の振興にかかる教育事業の経費に充てるための教育振興基金や地域福祉活動の活性化等の経費に充てるための福祉基金、市民自らが行うまちづくり活動の推進を図るためのコミュニティ推進基金などがあります。

【第2次甲賀市総合計画とは】

総合計画とは、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、目指す「未来像」を示し、その実現に向けた道筋を明らかにする長期的な指針となる計画です。

この計画は、今後12年を期間とする基本構想と、そのうち、第1期の4年間の取り組みを定めた基本計画で構成されています。策定にあたっては、市民等を中心とした甲賀市総合計画審議会での議論や市民意識調査等の結果を踏まえており、6月議会で議決しました。

一般会計補正予算を特別委員会で審査

平成29年6月21日に補正予算特別委員会を開催。東海道にぎわい拠点整備事業など国の補助採択を受けた事業や、(仮称)まちづくりコア・ステーション、西部学校給食センターの整備、日本遺産認定に伴う事業など、緊急に対応するための補正予算について審査した。

総務部所管

Q 補正予算全体で4億8千万を計上、財政に与える影響はどうか。
A 緊急性等を考慮して必要なものであると考え執行部ではこの額を提示している。

Q 中長期財政計画の見通しは。

A 見直しは行っていないが、今後、合併特例期間中にしなければならぬ事業も多くあり見直していきたい。

総合政策部所管

Q 東海道にぎわい拠点整備事業1225万円について。

A プロポーザルで事業者を選定、トイレ等の改修が中心になると思われる。事業者を選定後に協議のうえ改修する予定。

Q 庁舎周辺土地利用に750万円の請負形式について。

A 主に地域説明会の資料作りを考えており、平面図等の作成を予定している。具体的な方針が決定すれば基本計画を作成するもので、請負形式は入札となる。

Q 公衆無線LAN環境整備支援

事業500万円の全体計画は。

A 3カ年全体で約100カ所を整備する計画であり、今年度は38カ所を整備予定。500万円のうち約300万円が補助対象で、34カ所の補助対象施設にかかる実施設計の費用である。

Q (仮)まちづくりコア・ステーション建設事業4690万円について、必要となぜ今なのか。

A コア・ステーションについては、市民活動団体と連携して地域の課題解決を進めていくための拠点施設が必要であり、市民活動団体の専門性、独自の発想力等により、市と連携・協働することが必要。時期については、合併特例債を活用できる期限までに施設整備を進めたい。

Q 地域の課題解決の認識は。また、市民活動団体の内訳について。

A 高齢者福祉・子育て・環境など現代社会における共通する課題、甲賀市の課題もたくさんあることから、専門性を活かす市民活動団体と連携協力して課題解決を進める必要があり、特にテーマ型の市民活動団体を育成する面でも

必要である。市民活動団体は、NPO法人32団体、甲南の市民活動ボランティアセンターの登録団体200程度、市内の公民館等で活動されている団体が300団体程度ある。

Q 早急な計画とは思わないか。また、なぜこの場所にしたのか。

A 合併特例債の期限が関係する。場所の決定に当たっては市役所に近いこと、社会福祉協議会等様々な団体がここに集積していることから、情報共有や接点をもちやすい。また、水口エリアには市内の約40%の団体が集まっており、団体同士のつながりもつくりやすい。

Q 建設に当たっては市民の声を反映しているのか。

A 甲南に市民活動支援センターをつくる際に、市民活動団体から意見を聴いた。また日頃



から市民活動団体と接している中で声を聴いている。

Q 予定地は元々給食センター用地であり、市役所に近いだけの理由なら「きずな」の改修や旧甲賀病院の跡地も考えられる。市民全体のニーズは聴いたのか。

A 各担当部長がこれまで地域で求められている意見等を踏まえ、整備を決定した。

健康福祉部所管

Q 重症心身障害者通所施設整備事業用地造成工事測量設計業務委託870万円減額について。

A 当初予算は4つの候補地で検討したが、甲賀警察跡地用地に決定したため不用となった。

こども政策部所管

Q 放課後児童クラブの改修1090万円は。

A 伴谷児童クラブの用水路付け替え工事450万円、伴谷東児童クラブ増設に係る設計業務等640万円。

Q 放課後児童クラブの指定管理委託687万円は。

A 追加募集で集まった児童が想定より多く、急遽増額計上した。

産業経済部所管

Q 日本遺産関連施設というのは

平成29年度

リストがあるのか。

● 忍者については、山城等の遺跡群や油日神社等の関連文化財がリストにあがっている。施設整備については他の観光施設への波及効果も視野に入れながら整備を考えている。

教育委員会事務局所管

● 紫香楽宮跡活用調査290万円について、なぜ補正予算なのか。

● 信楽焼、忍者が日本遺産に認定され、歴史を地域振興や観光振興につなげていくことが重き内容になってきており、市を代表する紫香楽宮跡についても同じように対応することが必要であると考え計上した。

● (仮称)西部学校給食センター建設事業調査費2940万円は当初建設の規模と同様か。

● 建物の規模は同等程度で延床面積は3500㎡程度。建物の敷地としては9000㎡以内で収まる。

● 信楽給食センターの老朽化により機器が壊れる可能性がある。もしそのような事態になればどうするのか。

● 日々メンテナンスをしながら、安心、安全な給食が配食できるよう努めている。

質疑終了後、委員から補正予算の修正動議が提出されたが、書類不備により取り下げられた。

討論

反対討論

● (仮称)コア・ステーション建設事業について、内容や規模などあまりにも拙速で予算化する段階でない。建設予定地も公共施設等総合管理計画と整合性をもたせながら設定すべきである。

● 議会が全会一致で決めた事業を市長が議会に諮らず勝手に決めたところに根本的な問題がある。政策会議での議論も不十分であり、もっと議論して提案すべき。6月議会へ提案は拙速。

賛成討論

○ コア・ステーションは評価でき、他のすべての補正も夢のある事業である。

○ コア・ステーション建設に賛成である。関連する学校給食センター建設についてもいち早く整備しなければならぬ。設計の入札までの間に市民、団体、議員の声を聴いて十分な議論を尽くしていただきたいことを付け加え賛成。

採択の結果賛成多数により可決すべきものと決定しました。

補正予算特別委員					◎委員長	○副委員長
◎橋本 恒典	○山岡 光広	田中 喜克	小河 文人	田中 將之		
片山 修	山中 善治	谷永 兼二	森嶋 克己	辻 重治		
土山 定信	加藤 和孝	橋本 律子				

意見書													○：賛成 ●：反対
意見書	提案者	討論		清風クラブ	市民クラブ ・新しい風	公明党	共産党	会派に属さな議員					可否
		反対	賛成					鵜飼議員	谷永議員	森田議員	小河議員	田中喜議員	
安倍政権のもとでの憲法改悪に反対することを求める意見書	小西	橋本律	安井	●	○	●	○	●	●	●	●	○	否
高浜原発の再稼動に抗議し、運転停止を求める意見書	小西	—	安井	●	○	●	○	●	○	●	●	○	否
仮称「放射能汚染防止法」制定を求める意見書	山岡	—	竹若小西	●	○	●	○	●	●	●	●	○	否
森友学園・加計学園の疑惑徹底究明を求める意見書	山岡	—	小西	●	○	●	○	●	●	●	●	○	否
「共謀罪」法の廃止を求める意見書	安井	白坂服部	山岡森嶋	●	○	●	○	●	●	●	●	○	否
指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書	田中將	—	—	●	○	○	●	●	○	○	○	○	可
ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書	加藤	土山	白坂	●	●	○	●	●	○	○	○	○	否

常任委員会報告

総務常任委員会

6月22日に委員会を開催し、付託議案6件について慎重に審査しました。
(全員賛成にて可決)

専決処分

◆市税条例の一部を改正する条例の制定

Q市に影響があるもので認定長期優良住宅とはどのようなものか。耐震改修した後の申請時期は。
A耐震改修、耐久改修のもので、申請時期は、工事終了後3ヶ月以内。

条例の一部改正・廃止

◆あい甲賀ふるさと応援基金条例
◆消防団員等公務災害補償条例
◆防災行政無線条例を廃止する条例
◆その他の議決

◆第二次総合計画基本構想及び基本計画を定めること

Q成果指標の空家の数が各年度同じである理由は。

A空家は増加傾向にあり、現状の4%を維持する目標とした。

Q10万人都市を目指す取り組みと将来の人口フレーム8万7千人との整合性は。

A人口推計の8万3千人を、8万7千人まで上げる目標数値である。その後10万人を目指す考え

である。

Q「行政の役割を見直し」とある。行政とは何か。

Aまちづくりの主役は、市民であり、行政は黒子である。

Q地方公共団体の役割は、地方自治法第一条に明記されている。この部分をしっかり認識しておかないとぶれてしまうが。

A住民福祉の向上は第一義であり、研修にて周知を図る。

Qセーフコミュニティに関する部分はどこか。

A住民の安心・安全を守る手法を学ぶために認証を活用している。

Q計画書を如何に市民に行き渡るようにするか。

Aキックオフフォーラムやタウンミーティングにより周知を進め、概要版は、全戸配布の予定。

その他・意見として

計画ひとつひとつの文言をどのように捉まえ、理解するかによって認識の違いが出る。共通認識の



記載を検討するようにとの意見もでました。

契約の変更

◆別館雨漏りのため新庁舎建設工事の請負契約

民生常任委員会

6月23日に委員会を開催し、付託議案2件について慎重に審査しました。
(全員賛成にて可決)

専決処分

◆国民健康保険税条例の一部改正する条例の制定

Q軽減による財源不足の補填は。

A制度によるもののため、国・県の負担も含め一般会計より補填する。

Q市独自の軽減措置も可能か。

A可能ではあるが、制度外の場合は国からの交付金の減額もある。

条例の一部改正

◆地域総合センター条例

土山町の梅田会館を廃止するもの。

Q地域要望によるものだと説明があったが、何をもって地域要望と受け止めているのか。

A区からの要望書提出があり、数度にわたる地元役員との話し合

いや地域説明会でも反対もなかった。

Q今後の支援のあり方は。

A人権推進課などで必要な支援を継続する。(賛成多数にて可決)

所管事務調査

5月23日、障がい者支援策や水口医療介護センター事業中期経営計画などについて調査を行った。差別解消をはじめ、就労やひきこもりに対する取り組み等の聞き取りを行い、今後更なる支援の推進に向けて意見をのべた。

他に、整備予定の重度心身障害者通所施設の運営事業者募集に係る進捗状況等の調査も行った。



常任委員会報告



文教常任委員会

6月7日、及び26日に委員会を開催し、付託議案2件について慎重に審査しました。

(全員賛成にて可決)

契約の変更

◆音楽体育館耐震補強大規模改造

工事

◎アスベストの存在が想定されていたのに、存在が確認された場合の工期を当初から考慮していなかったのか。

▲工期については考慮できていなかった。

◎これまで、隙間からの飛散の可能性はなかったのか。

▲現状から飛散する可能性はなかった。

◎除去作業について手作業以外の方法はないのか。

▲硬化や無害化といった方法もあるが、アスベストが残ることになるため手作業とした。

◆補正 1627万1280円

契約の締結

◆甲南第一小学校大規模建造(1期) 工事

◎校舎からグラウンドへの椅子の動線が確保されているか。

▲昇降口にはスロープがあり、現行敷地がグラウンドとほぼフラットであり、確保されている。

◎児童数の今後の見込みはどうか。

▲28年度から32年度までの実数と見込数が具体的に示され、毎年約10人程度増加していく傾向。今回の工事においても、その点を考慮している。

◆契約額 3億3473万円

所管事務調査

◆(仮称)西部学校給食センター建設予定地について

◎候補地について、教育委員会でも意見があったと思うが、どんな意見が出ていたのか。



候補地視察

▲宇川は市街化区域内で土地代が高い。現計画地は敷地整備費が安い。山上・宇田・新城は市街化調整区域になるため、土地代は安い。インフラ整備費用が必要という試算になっている。

◎平成24年3月「建設地検討報告書」の資料では、市役所周辺の予定地への影響は少ないと言ってきたが、現在は影響があるといわれている。建設予定地が山上地区に変わった経緯を求める。

▲計画制定後に周辺土地の動向が大きく変化し、コンビニやコーヒースhopなどが建設され、商業施設として変貌してきた。そこで、給食センター用地について地権者に理解を求めた承、周辺への影響も少ないと考える。

産業建設常任委員会

6月27日に委員会を開催し、付託議案1件について慎重に審査しました。

(全員賛成にて可決)

◆甲賀市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例

この条例は、国の「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」の一部が改正され、市道に設置する道路案内標識の識別番号を変更することから条例の一部を改正するもの。

◎道路標識台帳と番号はどうか。

▲平成25年度に道路点検業務で施設点検を含めた台帳を整備した。道路標識管理番号は、地域ごとに番号で整理し、対象標識は市内合計で25基とのこと。また、市内設置の25基の標識に変更がないので市民への影響もない。



第6回議会報告会レポート



第6回議会報告会は、議会基本条例に基づき5月18日（木）、19日（金）及び20日（土）の3日間にわたり、市内各中学校区の6会場で開催しました。

議会報告会は市民の皆さんに、日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、市政に対するご意見やご提言を直接伺い、市民に開かれた議会を目指すために実施しているものです。今回は新しくなった、水口庁舎、甲賀大原地域市民センターでも開催することなどを新聞折り込みやチラシなどで

参加を呼びかけました。水口庁舎では土曜日の午後2時からの開催で、若い人たちの参加は少なかつたものの、夜間に参加できない人にもご参加いただくことができ、参加者は192人で、前回より30人多くなりました。

今回の議会報告会では、3月議会で審議した平成29年度予算と平成28年度一般会計補正予算についての審査内容などを、パワーポイントを使って報告しました。

報告内容等

- ①平成29年度予算の概要
予算編成方針のオール甲賀で未来につなぐ！チャレンジプロジェクトの内容を説明
- ②予算特別委員会の報告
平成29年度予算に対する審査内容の報告
- ③特別会計・企業会計予算の報告
平成29年度特別会計・企業会計予算に対する審査内容の報告
- ④補正予算特別委員会の報告
平成28年度補正予算に対する審

- 査内容の報告
- ⑤各常任委員会の報告
各常任委員会に付託された議案に対する審査内容の報告
 - ⑥委員会に付託されない議案の報告
委員会に付託されなかった議会運営委員会提案の内容説明と副市長人事案件の報告
 - ⑦意見書について
提案された意見書に対する内容と採決結果の報告

第6回議会報告会参加者人数

開催日	会場	人数
5月18日(木)	水口交流センター	64
	信楽開発センター	25
5月19日(金)	土山開発センター	21
	甲賀大原地域市民センター	26
5月20日(土)	水口庁舎	31
	甲南公民館（プララ）	25
参加者合計		192



水口交流センターでの報告



新庁舎での報告

以上、説明した後、参加者の皆様から報告内容や市政全般などについてのご質問やご意見をいただきました。

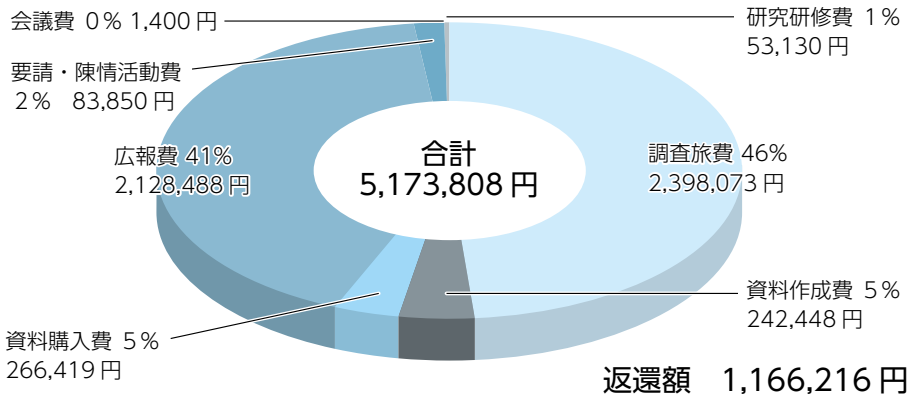
次回からは新しい議員構成のものでの報告会となります。これまでのご意見や反省を踏まえ、皆様にご納得していただける報告会が実施できるよう努力します。

平成28年度

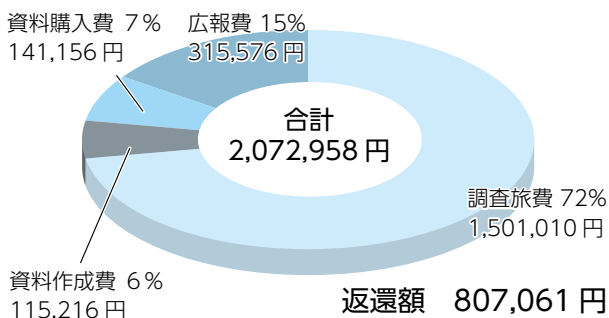
H28.4.1～H29.3.31

各会派別政務活動費

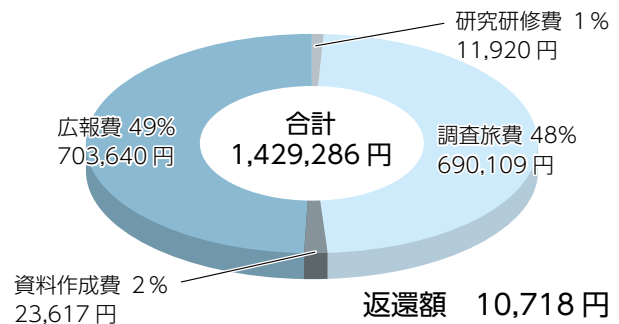
全体詳細



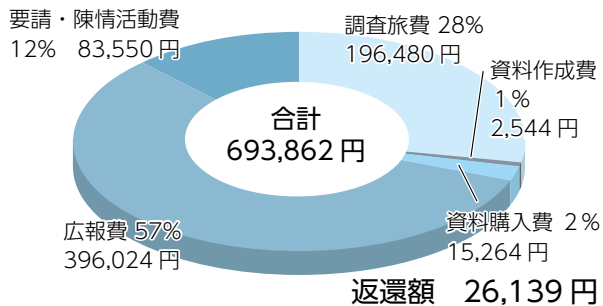
清風クラブ（11名）



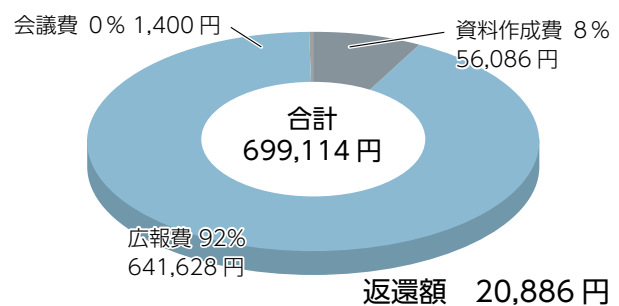
市民クラブ・新しい風（6名）



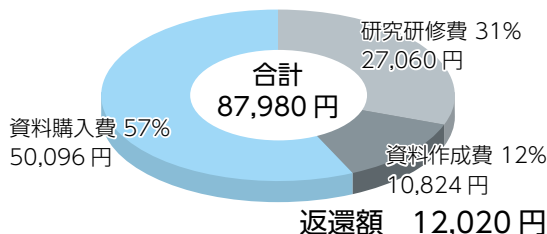
公明党甲賀市議団（3名）



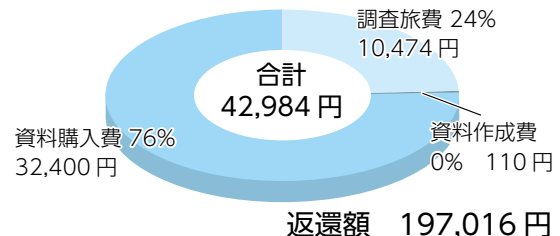
日本共産党甲賀市議員団（3名）



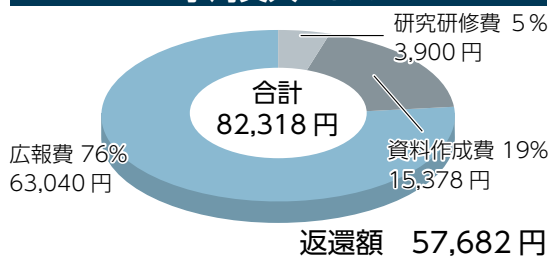
鵜飼 勲 議員



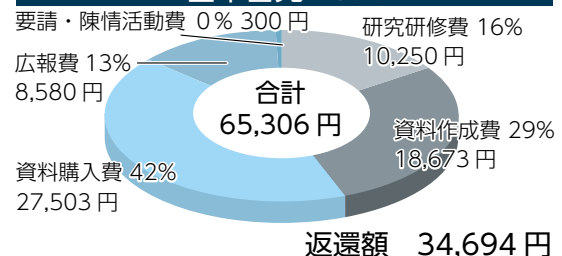
谷永兼二 議員



小河文人 議員



田中喜克 議員



会派に属さない議員

21人の議員が 市の考えを問う

平成29年
6月15日・16日・19日・20日

目次

平成29年 第3回甲賀市議会定例会一般質問

順番	氏 名	質問事項	順番	氏 名	質問事項
1	戎脇 浩	1 東海道街なみ保存について 2 特色あるまちづくりに向けて	12	安井 直明	1 「10万人都市を目指して」の市長公約を問う 2 安心して子どもを保育できる保育所・幼稚園に 3 介護認定者福祉車両運賃助成事業の拡大を 4 エコパレイ展望台、野外ステージ等の維持管理、修繕を 5 中学生の田舎体験を受け入れて改善すべき点等を提案
2	田中 喜克	1 日本遺産を活かした地域づくりを信楽高原鐵道の新駅設置でより力強く推進を 2 甲南庁舎職員の新庁舎への移転時期をもっともっと早く実現を… 3 J R 貴生川駅前整備計画に合わせ、「貴生川市民センター建設」を早急に推進を 4 学校再編計画で既に適正規模を超えている学区学校の分離適正規模化はあるのか	13	橋本 律子	1 観光街づくりの推進の鍵は 2 新しいふれあい社会の構築について
3	田中 將之	1 「人への投資」をする甲賀市へ 2 甲賀市の観光施策について	14	田中 新人	1 甲賀市新庁舎の状況について 2 買い物弱者問題と地域支援について 3 国道1号線4車線後の交通混雑について 4 地域農業問題について
4	竹村 貞男	1 新学習指導要領への対応について 2 市役所職員の年次有給休暇の取得率その他について 3 小学校の「色覚検査」が復活しつつあることについて	15	林田 久充	1 東海道にぎわい拠点整備事業について 2 市民協働事業提案制度について 3 子育て支援について
5	鵜飼 勲	1 甲賀市オリジナルI C O C A 給付事業について 2 「びわ湖の日」県民の休日条例化検討について 3 C L T (直交集成板) 普及促進について	16	土山 定信	1 介護を目的とした国際交流の提案について 2 第三セクター(株)あいコムこうかの今後について
6	白坂萬里子	1 「骨髄バンクドナー支援助成制度」について 2 「こどもの見守り」について 3 農村生活体験「忍者の里で田舎体験」について	17	小西喜代次	1 公立甲賀病院の地方独立行政法人化について 2 庁舎周辺土地建物の活用計画について 3 「弾道ミサイル飛来に伴う学校の対応について」の文書配布について 4 コミュニティバスの雲井・長野間の運行を 5 国道307号勅旨信号の渋滞解消の対策を
7	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりにについて 2 がん対策について 3 福祉施策等の拡充について 4 子どもの読書環境の整備促進について	18	橋本 恒典	1 中心市街地の活性化について 2 都市農村交流推進事業の成果と課題について 3 市の子育て支援と保育、児童クラブの充実について
8	谷永 兼二	1 市民ニーズを的確に捉え、スムーズな職務遂行のための職員研修の実施は平成29年度重点事業における官民連携プロジェクトについて 2 下水道事業と合併浄化槽面的整備について 3 医療政策の方向性について 4 テーマ型市民活動団体との協働について	19	森田 久生	1 「クリーンセンター滋賀の環境課題と同施設設置に伴う甲賀地域振興事業の進捗状況並びに今後の展望」について 2 【第72回】全国植樹祭(平成33年春)のメイン会場は、是非とも甲賀の地で!
9	片山 修	1 人口減少と高齢者への就労支援について 2 「ハートヘルスパーク甲南」の現状について 3 地域の諸問題について	20	小河 文人	1 日本遺産について 2 信楽中央病院の新改革プランについて 3 甲賀市子育て世代包括支援センターについて 4 公共交通のあり方について 5 信楽町下水道と合併浄化槽転換への進捗状況
10	山中 善治	1 (仮称) 甲賀市西部学校給食センターの適正立地等について 2 びわこ国体について(三次内定を受けて)	21	竹若 茂國	1 公共施設等の管理運営について 2 鳥獣害対策について
11	山岡 光広	1 時代錯誤の教育勅語を学校現場に持ち込まないことについて 2 国保税の統一化と市独自の予防・保健事業について 3 就学援助制度「入学準備金」支給時期の改善について 4 公民館等公共施設のトイレ改修について 5 高齢者が気軽に映画や演劇・音楽演奏などを楽しめるよう、甲賀市独自の「シニア助成制度」の創設を			

■答弁者の凡例

危機・安全管理統括監	危機統括監	総合政策部長	総政部長	市民環境部長	市環部長
健康福祉部長	健康部長	産業経済部長	産経部長	こども政策部長	こ政部長

公職選挙法メモ

議員が選挙区内にあるものに対して寄付をすることは、いかなる名義でも禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



水口宿の三筋・西の分かれ

◎歴史文化を残し、活用する機運が高まる中で、現状認識は。

◎市長 少子高齢化、若者世代の流出から空き家、空き店舗の増加が見られる。今後は官民連携の拠点整備など宿場町のブランド化を高め、観光などの波及効果を生み出し、賑わいのあるまちづくりへ繋げることが必要であると考え

戒脇 浩

◎東海道街なみ保存、活用は

◎A 賑わいのあるまちづくりを進める



QRコード



◎水口宿の三筋は、数多い宿場町の中でも、稀有な存在である。これを活かすべきであり、カラー舗装などの整備を進め、アピールすべきであると考えが、どうか。

◎建設部長 三筋は全国的にも希少な形状の歴史的街道であり、観光面や維持管理等も考慮した総合的な修景を検討する。

◎街なみ環境修景事業補助金制度を作っているが利用がない。課題は何か。

◎建設部長 周知不足と認識している。

◎保存・活用には「まちづくり」「観光」「景観等のハード整備」など多方面からの取り組みが必要であると考えるが、どうか。

◎副市長 交流人口を増加させ、域内経済の好循環を生み出す必要があることから、庁内連携を深め、地域・民間との協働を図ることで、東海道の街なみが本市独自の歴史や文化の資源となるよう、取り組みを進める。

田中 喜克

◎日本遺産を機に高原鐵道新駅設置

◎A 恒常的乗客増を見極め対応する



QRコード



◎スタートするJR貴生川駅前整備計画に合わせ、貴生川市民センター建設を求める。

◎建設部長・総政部長 当市の極めて重要な中心的地域であり、駅前整備での土地利用の高層化、複合化も視野に、貴生川市民センター建設を検討する。

◎学校再編計画で適正規模を既に超えている貴生川小学校は、今後も児童生徒の減少は可能性が少ない。教育環境の適正化・正常化となる貴生川小学校を分離する考えはないのか。

◎教育長 貴生川小学校児童数は6年後には491人と194人減る見込み。現時点で分離の考えは無し。今後、区画整理事業など児童増加要因も見極めて検討する。

◎新庁舎での全業務開始を素早く。また、市長部局で新設のことも政策部は教育委員会部局との連携を密接に。

◎総務理事・教育部長 極力、早期移転出来るよう検討する。

日本遺産の新たな魅力となる 400 年前のそのままに
甦った山上庚申山本堂

◎市長 教育両部局職員に互いの業務を補執行させて密に連携する。

◎日本遺産を活かし地域づくりを。

◎市長 「忍びの里甲賀・きつと恋する六古窯を魅力ある物語」をつくりあげる。信楽高原鐵道における新駅設置も恒常的乗客増を見極め対応する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 將之

Q 「人への投資」をする甲賀市へ

A それぞれの施策で対応する



QRコード



Q 「人への投資」をする甲賀市に向け、子どもへの投資として、0～2歳児を含む幼児教育と、食のセーフティネットという観点から学校給食の完全無償化をしてはどうか。

次に女性・若者への投資として、市が女性や若者政策に取り組む姿が目に見えるような、シンボルや活躍できる拠点整備が必要と考えるがどうか。

高齢者への投資として、高齢化が今後ますます進む中、高齢者の健康づくりは大変重要。近年、マシンを使った機能回復運動がとて有効であるというデータが示されている。地域の自治会館など、身近な施設を活用した機能回復のための仕組みを作ってはどうか。

市長 幼児教育の無償化は、国の「幼児教育・保育の早期無償化」の動向を見ていく。給食費の無償化は、家庭環境による栄養格差を縮める意味からも有効であるが、国の動向を見ながら、検討、研究



していきたい。

女性・若者が活躍できる拠点は、まちづくりコア・ステーションを整備し、女性参画推進を図る。

高齢者の健康づくりは、企業や大学にも協力いただき、甲賀らしさが感じられるモデル事業を展開し普及・啓発に努めていきたい。



中学校の部活動

Q 授業時数の増加に伴う時間の確保をどのように行うか。

教育長 5月末に文科省は平成30年度・31年度の移行期間の間、授業時間確保のために総合的な学習の時間の一部を英語に振り替える措置を指示してきた。今後、国や県の方針を十分注視しながら、子どもや教員に負担のかからない方法を検討していきたい。

竹村 貞男

Q 新学習指導要領の全面实施は

A 小学は平成32年度、中学は33年度



QRコード



Q 教員の時間外勤務の常態化についての見解は。

市長 学校現場で教員が日々大変忙しくしていることは十分認識している。国や県も「学校における働き方改革」に動き出しており、本市としても外部の識者を招いての「甲賀市教育支援プロジェクト会議」を設置し、具体的な方策を早急に検討していく。

Q 市役所職員の年次有給休暇の取得率と日数はどうか。

総務部長 年間の職員全体の繰り越し分を含めた付与日数に対する取得率は24%で、平均取得日数は9.4日である。

Q 家庭の日の定時退庁の状況は。

総務部長 毎週水曜日及び毎月9日、19日、さらに毎月末の金曜日を家庭の日として、18時までに退庁することを促している。

今後はワークライフバランスや働き方改革の観点から、勤務命令を受けていない職員は、速やかに退庁するよう徹底する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



対象世帯に給付された I C O C A

Q ネット競売を認知した経緯は。
建設部長 3月16日にネットアブリに出品されているのを市職員が発見した。
Q ネット販売の実態把握は。
建設部長 5月末現在で94枚の出品を確認している。
Q オリジナル I C O C A 給付事業の総括は。

市長 今回の対象世帯への給付率は66%に留まっている。I C O C A の認知度の低さ、給付方法等に課題が残った。配布方法については改善が必要と考え、担当部局にも指示を出した。
Q 「びわ湖の日」県民の休日条例化に対する見解は。
市長 滋賀県首長会議での説明では、県政世論調査の中で県民の意識を諮るとのこと、その結果を受け知事の考え方を確認したい。休日化することによって学校や企業また役所など現場レベルでの課題をクリアすることは、かなりハードルが高いのではと考える。
※ C L T 工法に対する本市単独の助成制度に対する考え方、市有財産への導入に対する見解は。

市長 C L T 工法のコスト削減が図られ更なる普及促進につながるような必要な制度について積極的に検討を進めたい。今後の公共施設の改修においては、C L T の普及啓発も兼ねて利用したい。

※「C L T 工法とは」
 ひき板を繊維方向が直交するように積層密着したパネルを使用した工法

鵜飼 勲

Q オリジナル I C O C A 給付事業

A 給付方法に課題が残った



QRコード



Q 骨髄バンクドナー支援助成制度の創設は。

市長 骨髄バンク登録は命をつなぐ善意であり、一人でも多くの患者さんを救うために国の制度ができるまでに、市として可能な制度の提案を参考に検討を進める。



骨髄を提供するドナー

Q 子どもの見守りについて、ベトナム国籍の小3の女子児童が、保護者会の見守る立場の親から殺害された事件をどう考え、今後

白坂萬里子

Q 骨髄バンクドナー支援助成制度を

A 市として検討を進めていく



QRコード



活かすか。又、子どもが自分の身を守る知恵と力を、小さいうちから学ぶ必要はどうか。

教育長 あらゆる手段で、また地域ぐるみで子どもたちの安全を見守る甲賀市のこの風土を継続・強化していくことが大切と思っている。今後も自らの身を守る方法を学ぶ機会を進めていく。

Q 農村生活体験「忍者の里で田舎体験」は、左記の通り質問。

- 1 推進協議会と受け入れ家庭の協議の場を開催しては。
- 2 入村式・離村式の送迎にサポートを。
- 3 受け入れ家庭が心同じく士気を高めるためのエプロンやハッピなどの配布は。
- 4 担当職員の増員については。
- 5 忍者のネーミングがついている以上、全ての生徒に忍者屋敷の観覧を。
- 6 受け入れ家庭の拡大の計画は。

(答弁は省略)

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

加藤 和孝

Q 防災基本条例を制定すべきでは

A 検討委員会を立ち上げ検討する



QRコード



Q 災害時における市民の責務などを明確にする防災基本条例を制定すべきでは。また、緊急地震速報が小中学校の各教室に自動的に流れるようにすべきでは。

危機統括監 防災基本条例につ

いては、(仮)検討委員会を立ち上げ、その必要性について検討する。緊急地震速報については、各教室に自動的に流れるよう、校内放送との連携について検討する。

Q 抗がん剤治療のために通院しながら働くがん患者の皆様の経済的負担などを軽減すべく、医療用ウィッグ(かつら)に対する一部助成をしようか。

健福部長 甲賀病院内に「がん

相談支援センター」を設け、医療面や精神面のサポートをしている。医療用ウィッグの一部助成についても検討していく。

Q 改正がん対策基本法では、がんになっても働き続けられるよう配慮することを事業主に求めている。甲賀市でも、東京都のように

患者の皆様の治療と仕事の両立に配慮する企業を支援する何らかの制度が必要ではないか。

健福部長 改正がん対策基本法

の理念に基づき、東京都の取り組みなど他の自治体の先進的な事例を調査分析し、がん患者の皆様への雇用の継続、円滑な就職に繋げるための施策の研究を進めていきたい。



谷永 兼二

Q オール甲賀で未来へつなぐには

A 市民との協働が必要



QRコード



Q オール甲賀で未来へつなぐには、職員にどのようなことを求め、どんな職員像を描いているのか。

市長 市民の皆さまからの期待

に応えていけるよう、職員が今までの以上に施策を立案する政策形成能力、高度化・複雑化する自治体業務に対応するための高い専門知識、また、コスト意識・スピード感・危機管理意識をもった行政経営感覚を身に着けることが必要である。それには様々な研修や学習の場が大いに参加し、視野を広めることが重要である。さらには、市民の皆さんに誠意をもって対応する接遇能力と人権意識を身に付けるとともに、地域などに積極的に向き、皆さまと語り、汗をかき、知恵と工夫を出し、地域に溶け込む事が大切である。

Q 市民活動団体等と行政との協働の必要性と、まちづくりを進めるうえで今後の展開は。

市長 行政だけで地域課題をすべて解決してまちづくりを進めて



信頼される市役所・職員力向上を目指す

いけるものではなく、多様な主体が連携、協力し、それぞれがもつ得意分野を活かしていただきながら、役割を明確にして取り組んでいく協働が何より必要である。

市民活動団体が活動拠点として利用ができ、さらに、団体連携のコーディネートなどができる専門スタッフを配置した拠点施設が必要と考える。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

片山 修

Q 道路照明灯の撤去後の対応は

A 地元との調整を行い進めていく



QRコード



Q 「ハートヘルスパーク甲南」の施設管理の草刈り体制は。

教育部長 シルバー人材センターへ年2回の草刈作業を委託。今後は、予算をつけていく。

Q トイレ清掃や照明器具等のメンテナンス体制は。

教育部長 トイレ清掃は、週1回、市職員が行っている。照明器具等は、業者により交換等の作業を行っている。

Q サッカーグラウンドの芝生の管理は。

教育部長 委託業者による年間5回の施肥や薬剤による除草及び病害虫防除を行っている。

Q 更衣室や控え室の現状は。

教育部長 他の目的のため利用されている。今後は、甲南庁舎の活用も視野に入れ、改善に向けて検討する。

Q 県道杉谷嶺線の希望ヶ丘本町10丁目入交差点の登下校、歩行者の安全確保は。

建設部長 小中学生等が多く通



通学路につき危険な交差点

行しており交差点形状からも危険が潜んでいる。市として、安全対策からも早期に事業完了するよう、県に強く要望していく。

Q 希望ヶ丘団地内の道路照明灯の設置本数と撤去本数は。

建設部長 道路照明灯37基の内、29基を撤去。

Q 撤去後の対応は。

建設部長 昨年度は、4基更新。本年度も4基設置予定。今後は、地元との調整を行い、進めていく。

山中 善治

Q 学校給食センターの立地について

A 防災計画上の機能を発揮できる



QRコード



定しようともしている。給食センターの新予定地は水害に備えられているが、このように配送路途中には浸水地区があり、渋滞のリスクなども十分に考えられる。給食センターの果たすべき災害時の炊き出し拠点としての機能がそがれると考えられるが所感を問う。

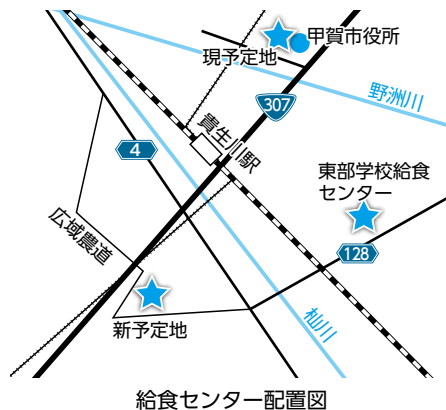
市長 新予定地が当初計画地と比較をし、市役所等行政機関からの距離が遠くなることは認識しているが、市内業者などとの災害時応援協定の締結により食料や資材の確保能力を高める。

約70㎡の調理実習室も確保するなど、食育に関する教育的施設としても計画通り整備する。

他に2024年びわこ国体において、ゴルフと軟式野球が甲賀市内に内定したことについて質問し、市長はスポーツの裾野が広がり楽しい機会を繋げることが「甲賀市版レガシー」と答弁した。

Q 建設当時、誰からも理解されなかった防潮堤防の高さのおかげで、東日本大震災時、一人の死者も出さなかった「普代村水門」の話は記憶に新しい。異常気象による災害も昨年は全国的に特に多かった。

甲賀市は昭和28年の「多羅尾水害」、平成25年の台風18号と水害に弱い市だ。地形的にゲリラ豪雨にも配慮が必要だ。県は水口町三本柳地区を想定浸水重点地区に指



給食センター配置図

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山岡 光広

Q 教育勅語は教材に使うべきでない

A 取り入れる必要はないと考える



QRコード



Q 時代錯誤の「教育勅語」を学校教材に持ち込むべきではない。

教育長 すでに国会でも決議されているように「主権在君並びに神話の国体観に基づいているものであり、憲法や教育基本法とは相容れないもの」と認識している。（安倍内閣の閣議決定に）私個人としては疑問に思う。学校教育の中で取り立てて教育勅語を取り入れる必要はないものと考ええる。

Q 4回連続で取り上げている就学援助制度「入学準備金」の支給時期を早めることについて。

教育長 新年度中学1年生の新入学準備される時期に支給できるように要綱の改正等事務処理を進めている。小学1年生は実施の方向で研究・検討している。

Q 県の国保運営協議会方針に対する市長の意見照会は国保連協等の意見をふまえて行うべき。

市長 運協を開催し意見を聞かせていただく。

Q 広域化になっても、国保税は

市独自の算定方式で、また法定外繰り入れを認め、予防・保健事業も市の裁量をふまえた拡充を。

市環部長 広域化後も市の独自制度として継続していく。

Q 公民館等に洋式トイレ、多目的トイレの整備を。

教育部長 使いやすいトイレの整備は必要。可能な限り整備していく。



安井 直明

Q 田舎体験の改善を

A パンフレットを秋までに作成



QRコード



Q 「10万人都市を目指して」の公約で年次目標など決めないのか。

市長 当面は平成40年の8万7千人をめざす。

Q 現場では多くの問題がある。安心して子どもを保育できる保育所・幼稚園に。

こ政部長 教材費・給食の帽子など実態を調べ対応する。

Q 近隣の要支援の方が免許を返納したが介護認定者福祉車両運賃助成事業は所得制限でダメとのことだ、所得制限を外すべきだ。

市長 所得制限を外すと、多くの予算を必要とすることから、他の事業など整合性を図る必要がある。



危険な野外ステージ

Q エコバレイ展望台、野外ステージ等の維持管理、修繕を。

建設部長 展望台は解体の方向、野外ステージは平成29年度に撤去。他の施設は協議していく。



受入れた田舎体験

Q わが家は、毎年中学生を田舎体験として受け入れた。市の資料として中学生へ忍者・特産・旧跡のパンフレットをつくる考えはないか。また、受け入れ家庭の推移はどうか。

産経部長 パンフレットは秋に作成。受入れ家庭登録は、昨年より15軒減少。今後も工夫をし、効果ある事業にする。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子

Q 日本遺産「忍者」市の認識と今後

A 市民等との連携で市独自施策を



QRコード



Q 第2次観光振興計画の中、観光関連施設の整備とあるが、観光誘客につながる甲南駅前及び資料館等の事業展開も必要と考えるが。

産経部長 忍者の住居跡とされる建物を整備活用し史跡を磨き上げる。また魅力ある景観作り・宿泊施設・特色ある拠点施設整備は民間活力を活かしたい。さらに必要は見直しも重ねていきたい。

Q 忍者への市の認識と推進体制づくりをどう図る。

市長 甲賀市・伊賀市は忍者発祥の地としての中心的役割を担う。両市で(仮)甲伊一国忍者連盟を組織しPR映像作成や案内板整備・東京日本橋オープン予定「ここ滋賀」の情報発信も視野に。周辺整備には関係団体。民間事業者と連携を。

Q 甲賀市の観光協会につき「オール甲賀」で一本化を図っては。

市長 市として、まず観光DMOの設立を優先したい。観光戦略等

もご理解いただき精力的議論いただき、統一化へと考える。



Q 「新しいふれあい社会」の構築に向けボランティア活動に対する行政の期待と評価は。

健福部長 登録は121団体会員2456人。市が目指す地域福祉の推進に大きな役割を果たしていただき、市との連携強化が必要。Q 退職後に社会参加のきっかけを。

健福部長 生きがい対策としても大切。



甲賀市新庁舎

Q 新庁舎で期待される効果と業務システムはどうか。

総務理事 市民サービスの向上については、市民利用が多い、届出や証明書の発行、福祉や税、子育てなどの窓口を1階・2階に集約しており、また、東西の玄関付近には、従来の市民窓口センターに変わり総合案内を設け丁寧かつスピーディーな誘導に努めている。

田中 新人

Q 甲賀市新庁舎で期待される効果は

A 市民サービス向上、防災拠点形成



QRコード



防災拠点の形成は、大規模な地震が発生した場合でも確実に防災対応が進められるよう基礎部分は免震構造を採用し3日間機能を維持できる自家発電機や受水槽、非常時汚水槽などを設置している。

ユニバーサルデザインへの導入は、高齢者や障害者、子ども連れの方などに配慮した多目的トイレ、授乳室、キッズコーナー、思いやり駐車場を設置。障害者の方に配慮し音声誘導装置も取り付けられている。

Q 買い物弱者への支援は。

産経部長 買い物弱者の数は増加傾向にあり、支援については、福祉部門と連携し、あらゆる角度から有効な対策を検討する。

Q 泉西交差点の見通し改善は。

産経部長 植栽している樹木が成長し、枝葉の張り出しによって交差点の見通しが悪くなっており、交通に支障が出ないよう、速やかに剪定を行ったが、充分でない部分は、適切な維持管理をする。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

林田 久充

Q 市民協働提案制度の感想は

A 提案制度をさらに進める



QRコード



Q 東海道路にぎわい拠点整備事業とは何か。

総政部長 国の交付金を活用して、旧東海道の賑わい再興拠点施設を、水口町地域の空き町家をリノベーションする。

Q 水口の中心市街地の活性化策の必要性はどうか。

総政部長 みなくち自治振興会や綾野自治振興会とも意見を重ねながら、水口宿活性化に向けた将来ビジョンについても取り組む。



市民協働事業提案制度報告会

Q 地方創生の視点で空き家を活かした旧町地域の市街地活性化策は。

市長 地域の実情に即した形で、民間活力の導入等検討を進める。

Q 市民協働提案制度の今後の報告会の在り方は。

総政部長 成果発表会は、市民、NPO、自治振興会、議員等より多くの参加を工夫し、協働の意義を考える機会にしたい。

Q 市長の感想と手ごたえは。

市長 この提案制度をさらに前進させ、望まれれば新たなコミュニティビジネスモデルへの展開に結び付くように研究を進める。

Q 甲賀市子育て世代包括支援センターの今後の事業展開は。

市長 支援センターは、今回、既存の施設を使って甲賀町にオープンした。今後、利用状況も踏まえ、甲賀市全体の子育て応援施設の整備、機能について望ましい形を検討していく。

土山 定信

Q 『あいコムこうか』の今後は

A 精査し、次のステップに



QRコード



Q (株)あいコムこうかの資本金3千万円は、どう決定したか。

総政部長 東近江市や、旧水口事例を参考に、目標額を定め、市の判断で特定の事業所に発起人を要請し発起人会で承認された。

Q 資本金の増資計画はないのか。

総政部長 長期損益計画が確実に履行されているか否か見極めてから検討したい。

Q 発起事業者募集方法の中で、「放送を自らがやりたい」と意欲のある企業はなかったのか。

総政部長 本会社は、募集設立ではなく、発起設立であり、公益的な展開をされている企業や、社会貢献などで、市が選定をしたものであり、募集したのではない。

Q 第一の不幸はそこから始まっていると思う。それでは、市が選定して、立ち上げたあいコムこうかであり経営の責任がすべてその会社であるとの考えは無理がないか。今後の対応は。

副市長 私も当初設定された資



あいコムこうか番組案内より

1 1 2 chを押してください

後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小西喜代次

Q 拙速すぎるコアステーション計画

A 合併特例債の期限内で事業を進める



QRコード



Q 甲賀病院の「独立行政法人化」ありきでなく時間をかけた議論が必要である。市長の所見はどうか。

市長 甲賀、湖南両市議会、また、一部事務組合議会の議会で十分に議論をしていただくことになる。

Q 「(仮称)まちづくりコア・ステーション」計画は、庁内議論だけで議会にも突然提案されてきた。給食センター予定地変更に伴うもので合併特例債の期間内という理由。拙速な結論は避け、広く時間をかけた議論が必要でないか。

市長 財政面において、有利な財源である合併特例債が活用できる期限内に進める。

Q 4月25日に北朝鮮の弾道ミサイル発射に伴い公的機関の広報などの情報もない中、市内学校で子どもに文書が配布され、子どもたちには不安と恐怖を与えた。配布にあたって冷静な判断が必要ではなかったか。

教育長 県下一斉の指示で、臨

時休業となることの通知は必要な措置であったと考える。

Q 住民の願いに応えコミバスの雲井・長野間の運行を求める。

建設部長 乗合タクシーの検討、信楽高原鐵道との乗継の見直しで利便性の向上を図る。

Q 国道307号枚方方面の勅旨信号の渋滞解消のため、右折だまりの設置など具体策を求める。

建設部長 県に強く働きかける。



国道307号枚方方面の勅旨信号(高原台入口)

橋本 恒典

Q 市の中心市街地の現状は

A 商店等の撤退や空き家が増加



QRコード



Q 市の中心市街地の考え方は。

市長 水口地域内の旧東海道沿いに位置する旧市街地を基本として庁舎周辺も含めた区域と、概ね中学校区単位的生活圏において駅や商店街を含めた地域と認識。

Q 中心市街地の現状は。

総政部長 商店等の撤退や空き家の増加等が進んでいる。

Q 中心市街地活性化基本計画は。

総政部長 国の認定基準が厳しいが、必要性を見極め判断する。



中心市街地の活性化に期待される甲賀病院跡地

Q 「忍者の里こうかで田舎体験」の成果と課題は。



忍術村での忍者体験

産経部長 田舎の生活を通しての経験や、地域の活性化にもつながっている。甲賀らしいプログラム等まだまだ工夫の余地がある。

Q 幼稚園・保育園の現状と今後の施設整備は。

こ政部長 適宜老朽化等に対応した補修工事を実施しており、今後にも必要な整備を行っていく。

Q 放課後児童クラブの現状は。

こ政部長 衛生面、安全面で条例基準を下回るクラブはない。

Q 4月にオープンした「ここもーり」の運営状況は。

こ政部長 5月末で4159人、一日平均119人が利用。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

久生 森田

Q 33年全国植樹祭会場を甲賀市に

A 誘致に向けて積極的に発信する



QRコード



今回は①クリーンセンター滋賀環境課題と、地元「甲賀地域振興事業」について、②平成33年開催の全国植樹祭のメイン会場を甲賀市に誘致する提言を行いました。

Q クリーンセンター滋賀の環境問題、特に最近の硫化水素による悪臭発生課題に対する市の認識は。

市環部長 同センターでは平成28年度1280万円を投じて悪臭除去に取り組んでいる。現在は、環境基準を下回り健康面にも影響はないが、引続き市も関与し地元住民の不安解消に努めたい。

Q 産廃処分場新設に伴う、周辺地域への風評被害対策としての「甲賀地域振興事業」の進捗状況と今後の事業促進に向けた展望は。

総政部長 前期末現在、助成金ベース進捗率は54%。期限の延伸と事業内容の見直しを県当局と協議を重ね、今年3月には助成期間を平成34年度まで延伸、事業計画



5月28日に参加した(第68回)全国植樹祭会場
【富山県魚津市メイン会場にて】

内容も見直し協議を進める旨の協定を締結し一歩前進した。地域が求める事業を実施して行く。

Q 平成33年に滋賀県が積極的に誘致を進める第72回全国植樹祭。そのメイン会場を是非、当甲賀市に誘致促進を市長に提言したい。

市長 市の面積の7割が森林の当市は琵琶湖有数の水源林であることから、開催地に大変ふさわしい。積極的に内外に発信して行く。

Q 信楽中央病院新改革プランが公表されたが。

健福部長 地域医療を担う一次医療機関として公立病院の役割を果たし経営基盤を図るため作成。

Q 経営評価委員会の機能として、報告会議になっていないか。前回一般質問で透析患者の信楽中央病院での開設を質問したが「委員会と協議する」と答弁されている。議事録等に報告のみで審議・検討されていないのでは。今後検討してもらいたい。

健福部長 本プランに記載するには至っていない。

Q 病院の再編ネットワーク化について水口診療所と信楽中央病院の役割、一般財源の繰出しは。

健福部長 信楽中央病院、水口診療所は在宅医療に需要増に応える施設では共通している。

信楽中央病院は、回復機能の病床を備えた病院併地医療、出張診療所、不採算部門を担いながら地域医療を担う役割である。



地域医療を担う信楽中央病院

2億3千万円（国からの交付税措置1億4千万円）。

水口診療所は周りにある病院の補完的診療所で、老健施設と合わせ2億3千万円（診療所に1千万円までほとんどが一般財源）。

Q 信楽警部交番の跡地を利用し、救急車や路線バスが入りやすくしてはどうか。

総務理事 帰属決定後検討する。

文人 小河

Q 信楽中央病院の役割は

A 地域医療を担う大切な病院である



QRコード



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



里山に現れる野生猿

Q 猿害対策が進んでいないのでは。
産経部長 猪、シカは防護柵、狩猟により一定の成果が出ている。猿は県管理計画により個体調整がされており、減少していないのが現状。

竹若 茂國

A 「猿害」の積極的な対策を
佐治、稗谷方面の全頭捕獲を行う



QRコード



Q 隣の伊賀市では、一部を檻による全頭捕獲を行っている。甲賀市もできないのか。

産経部長 伊賀市でB群の捕獲に成功した。甲賀市も恩恵を受けている。甲賀市も加害の大きい群れを全頭捕獲する計画で進めている。

《公共施設の管理運営》

Q 庁舎周辺整備計画と（仮）まちづくりコアステーションの整合性は。

産経部長 庁舎周辺整備計画が遅れており、早急に進める。市民活動拠点の「きずな」（旧消防署）の老朽化等により、市民グループの活動拠点が必要。

Q 甲南庁舎の利活用は。

総務部長 甲南地域等の公共施設の集約、公共団体事務所、甲南地域市民の交流の場等に活用したい。地域の皆様の議論を踏まえて検討したい。

充実した設備で活発な議会活動を



議長席からの傍聴席

Q 新庁舎の議会・議場はどのように。

A 庁舎5階に機能や設備を充実した。

Q 議会の傍聴は出来るのですか？

A 議会傍聴はどなたでも傍聴できます。（児童・乳幼児は原則お断りしています。）

本会議、常任委員会及び特別委員会は原則公開です。議場の傍聴席は50席あります。

Q 身体の不自由な方の傍聴は？

A 事務局にお知らせください。専用エレベーターで傍聴席までご案内します。

また、聴覚に障がいのある方には、傍聴希望日の7日前までにお知らせいただければ手話通訳者を配置します。



議会傍聴席

Q 新庁舎での議員活動は？

A 議場での議員発言は大型モニターに映し出され、見える化が図られます。

議員活動をより深めるため、会派控室が設けられ、議事議案を協議し、熟知することができます。また、議会図書室もあり、議員活動に必要な情報を得ることもできます。



車いすエレベーターで議場傍聴席へ

議員が選挙区内にあるものに対して寄付をすることは、いかなる名義でも禁止されています。

特別委員会などの動き

庁舎整備特別委員会

3月29日・5月24日委員会を開催
信楽地域市民センター及び信
楽伝統産業会館建設工事・設計業
務整備の説明を受ける。

Q 市民センター及び伝統産業会
館建設の応募資格に見合う県内業
者は。

A 10社から20社あるが、センター
だけでなく伝統産業会館の展示部
分も考慮して、ノウハウを有する
ところを選定していく。

Q プロポーザル方式よりもコン
ペ方式でデザインを競い合う方が

いいのでは。

A コンペ方式になると、デザイ
ンの中から選択する形になるが、
業者を決めて、地域・関係者等に
意見を聞き、それらを反映させて
デザインを決めていきたいことか
ら、プロポーザル方式で実施した
い。

Q プロポーザルで選定された業
者のデザインを誰が判断し、その
デザイン能力の業者選定を市の職
員でできるのか。

A いろいろとやってこられた実
績を見て、デザイン能力を判断し
ていく。

名神名阪連絡道路整備促進議員連盟の総会を開催

5月26日、甲賀市役所で29年度
総会を開催しました。

総会には岩永市長や県議会議
員、整備区間指定を実現する会の
方々の出席のもと行ないました。

この道路は名神高速道路、新名
神高速道路、名阪国道の東西の国
土軸を南北に結ぶもので、産業、
経済、文化の交流および周辺地域
の社会基盤の強化と地域振興に大
いに寄与するとともに、大災害時
における緊急輸送、避難経路とし
ても重要な道路です。

6月27日には名神名阪連絡道路
整備区間を実現する会の総会が開
催されるとともに、7月10日には
同期成同盟会の総会も開催される
など、官民挙げての取り組みが行
われています。

議員連盟では国や県への要望、
関係市町への協力要請を重ねなが
ら、その実現に向けて取り組んで
いきます。



用語解説

「プロポーザル方式（技術提案
書競技方式）」

複数の設計者から「技術提案
（設計体制、実施方法等の企画・
提案）」を求め、必要に応じて
プレゼンテーションやヒアリン
グを行い、その中から最も良い
「設計者（人）」を選ぶ方法。

「コンペ方式（設計競技方式）」

複数の設計者から具体的
な「設計案」の提出を求め、その
中から最も良い「設計案」を選
ぶ方式。

3 議員表彰される

全国市議会議長会表彰



橋本律子 議員

第93回定期総会において
全国市議会議長会より通算
15年以上議員として在職さ
れたことに対し表彰されま
した。

全国市議会議長会 社会文教委員会委員に 感謝状



進 重治 議員 的場計利 議員

平成28年度において全国
市議会議長会の社会文教委
員会委員を勤められたこと
から感謝状が贈呈されまし
た。

甲賀広域行政組合議会

7月5日、行政組合臨時議会開催。全員賛成にて可決。

議決

◆29年度一般会計補正予算

「家庭用燃えるごみ指定袋」及び「プラスチック専用指定袋」を、平成30年度より、湖南市・甲賀市の両市で統一するための予算計上。

Qどのような理由で、袋の統一を計画したのか。

事務局長 両市の袋を統一することにより、皆さんの購入時の利便性を高めるため。

Qこの統一により、印刷費などの程度コスト削減になるのか。

事務局長 全体としてスケールメリットは考えられる。

(全員賛成)



海外に寄贈する消防車

契約

◆化学消防車2型及び高規格救急自動車の更新について

化学消防車は、534.6万円にて契約、水口消防署に配備。

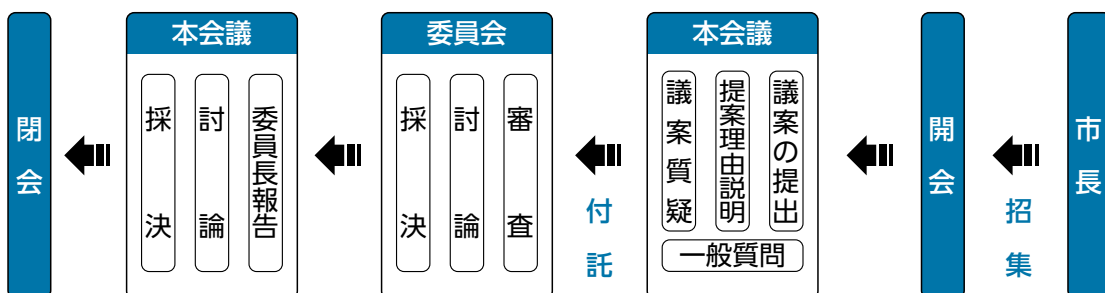
高規格救急自動車は、273.2万円にて契約、土山分署配備。

なお、追加説明として、更新により一線を退いた消防自動車2台は、国際貢献として、途上国に寄贈されます。



化学消防車・高規格救急自動車の更新

会口モ
議ひとメ
議会はこのような流れで行われています。



【開会】

定例会（甲賀市の場合、3月・6月・9月・12月）は市長の招集によって開かれます。なお、本会議は原則として議員定数の半数以上の議員が出席しなければ開くことができません。

【提案理由説明】

予算案や条例案などの議案の内容と提案理由について、提案者が説明します。

【議案質疑】

提案された議案に対して、その内容や提案の理由などについてきくことをいいます。

【一般質問】

議員が市長など執行機関に対して、広く市政に関し報告や説明を求めたり、質問などを行うことをいいます。各会派を代表して行う代表質問（通常を3月定例会）があります。

【委員会付託】

提案された議案については、それぞれ担当する各委員会に審査をゆだねます。

【委員会での審査】

各委員会では、本会議で付託された議案や市民からの請願について詳細に審査します。

【委員長からの報告】

各委員会での審査結果を本会議で委員長が報告します。

【討論・採決】

委員長が報告した議案などに対して賛成・反対の意見を表明したあと、議案に対する採決を行います。

【閉会】

議事に付されたすべての議件についての審議を終えた後、閉会します。

水口町水口

水口岡山城跡 (国指定史跡)

こうか再発見

市内の文化財⑦



水口岡山城は、天正13年(1585年)、豊臣秀吉の命によって築城され、東海道を眼下に見据える立地から、秀吉の天下統一における東国制覇の足掛かりの城と位置づけられました。その後、「五奉行」に名を連ねる増田長盛・長束正家が城主となり、豊臣政権下の拠点 城郭として機能します。しかし、関ヶ原の戦い

の後、徳川幕府によって廃城とされ、江戸時代には水口藩の御用林となりました。

現在は通称「城山」^{しろやま}と呼ばれ、市民に親しまれており、山中に残る石垣などの遺構から当時の面影が偲ばれます。

現在の水口地域の基盤は、水口岡山城の築城によって整備され、その後、江戸時代の水口宿として栄え、現在に至ります。

まさに、水口岡山城跡は地域のシンボルです。そのような城跡が紫香楽宮跡・垂水斎王頓宮・^{しがらきのみやあと たるみさいおうとんぐう}甲賀郡中惣遺跡群に次いで、4つ目の国史跡に指定されました。豊臣政権を支えた拠点としての歴史的背景に加え、石垣や堀切などの城の遺構が良好に残ることが高く評価されました。

スマホで議会中継が
みられます!!

これまでパソコンや「あいコムこうか」からしか見られませんが、3月定例会からスマートフォンやタブレット端末でも映像を見られるようになりました。

日程や議員名などから映像を探す機能もありますので、スマートフォンやタブレット端末で気軽にアクセスしてください。

紙面から動画にリンク!

議会質問をスマホ・タブレットで視聴

各議員の顔写真の下にQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

編集後記

▶九州北部地域の記録的な豪雨で被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。土砂崩れ、河川氾濫、家屋浸水の被害の報道には、当市の過去の災害がよぎりました。改めて防災、減災に備えた対策の必要性を痛感しました。▶さて、6月議会から新しい庁舎となり、私たち議員も心を引き締め努力していかなければなりません。広報委員としても紙面のバランスはもちろんのこと議員間のあつい議論をしっかりと伝えさらに読みやすく、親しみのある内容にしていきたいと考えています。

(広報特別委員 橋本律子)

9月議会の予定

8月23日	本会議(第1日)議案上程
8月24日	本会議(第2日)議案上程
8月31日	本会議(第3日)議案審議
9月1日	本会議(第4日)一般質問
9月4日	本会議(第5日)一般質問
9月5日	本会議(第6日)一般質問
9月6日	本会議(第7日)一般質問
9月7日	委員会
9月8日	
9月11日	
9月12日	
9月13日	
9月14日	
9月15日	
9月19日	委員会
9月21日	本会議(第8日)最終日



カメラの



信楽高原鐵道の車窓から眺められる、「牛飼田んぼアート」は今年で3年目、6月3日に

開催されました。今秋には「忍者たぬき」が浮かび上がります。小さな子どもさんから大人まで100名を越える参加者で賑わっていました。本年は日本遺産に本市の忍者、信楽焼が認定され、多くの方が忍者の衣装で田植えをされていました。



(写真撮影：小河文人委員)